



2024年10月22日

各位

株式会社 J C U

代表取締役会長兼 CEO 木村 昌志

(コード：4975 東証プライム)

## J C U、国内拠点の 25 年度 CO<sub>2</sub> 排出量を 13 年度比 55%削減 生産本部（新潟県上越市）がカーボンニュートラルガスに切り替え

株式会社 J C U（代表取締役会長兼 CEO：木村昌志）は、生産本部（新潟県上越市）で利用するすべてのガスを、上越市ガス水道局が供給するカーボンニュートラルガスに切り替えます。実施は11月2日からとなります。これにより年間で約370トンの二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量を削減します。J C Uは中期経営計画「JCU VISION 2035 -1<sup>st</sup> stage-」において、30年度までに国内拠点のCO<sub>2</sub>排出量を13年度比で46%削減し、50年度にはCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの実現を目標として定めました。今回の施策により、25年度のCO<sub>2</sub>排出量は13年度比で約55%削減\*を見込みます。30年度までの目標をいったん達成することになりますが、25年度中には熊本事業所（熊本県益城町）が操業を始める予定であり、国内拠点のCO<sub>2</sub>排出量は一定の増加が避けられません。引き続きCO<sub>2</sub>排出量の一層の削減、環境負荷を低減した事業運営により、サステナブル（持続可能）な社会づくりに貢献してまいります。

カーボンニュートラルガスは、世界各地の森林保全プロジェクト等でのCO<sub>2</sub>削減効果を信頼性の高い認証機関がCO<sub>2</sub>クレジットとして認証したカーボンクレジットを活用したもので、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスがカーボンオフセット（埋め合わせ）されたガスを指します。企業のガス使用量削減によるCO<sub>2</sub>排出量削減については、設備更新、バイオマス発電への切り替え、カーボンニュートラルガスへの切り替えが主流となっており、当社ではカーボンニュートラルガスへの切り替えを選択しました。

※ 25年度にCO<sub>2</sub>排出量約55%削減：J C U単体のScope1（自社における直接排出）、Scope2（購入・使用した電力、熱、蒸気などのエネルギー起源の間接排出）が対象。

### 【本件の問い合わせ先】

株式会社 J C U

経営戦略室 経営企画部

TEL：03-6895-7004

以上